

## 梱包品一式

※ 組み立て作業前に、部品を一通り確認ください。

	1 set	パイプハウス用サイド巻き上げ機 くるファミ50		9	19中用パッカー 巻き上げパイプ&ビニール
	1本	巻き上げ機用ガイドパイプ 22.2φ×0.9×186cm プレス加工		1枚	サイド巻き上げビニール 0.075×135cm×360cm
	1個	22.2φ用頭キャップ		2本	ビニバー (フィルム止め資材) 180cm
	2本	ビニール巻き上げ用直菅パイプ 19.1φ×1.2×206cm ダエンスエジ加工		1個	継手 (ビニバーを継ぐ資材)
	1本	ビニール巻き上げ用直菅パイプ 19.1φ×1.2×90cm ダエンスエジ加工		4個	パイプ止金具 22.2φ用 (ビニバーとパイプをクロス固定する)
	11	22φ用パッカー 本体&ビニール用		2本	スプリング (2m) (ビニバーにビニールを留める資材)

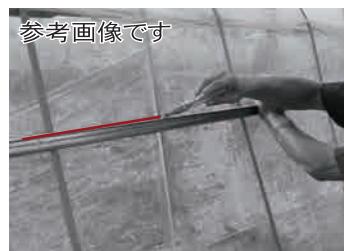
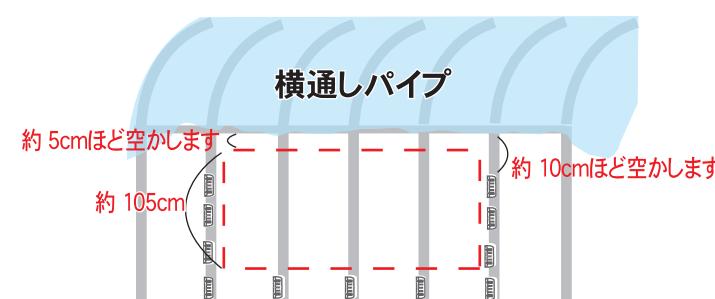


※ 天井ビニールの、横かぶり部分を、捲り上げて作業してください

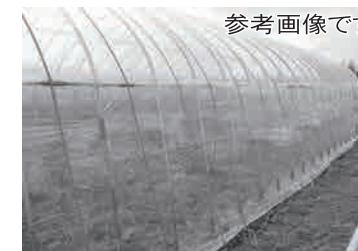
※ サイド巻き上げセットは、ハウスバンドを張っている場合は、その内側になります。

## ① 換気穴の部分を切り取る（赤点線部分）

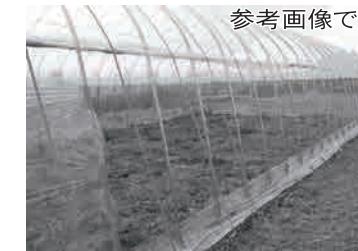
- 前後2本目のパイプ、横通しパイプの下側に、約 105 cm × 約 310 cm の長方形を枠取り（赤点線部分）を、22φパッカーで3方向を囲うように固定した後、枠を切り取ります



枠取りの線引き時に、ビニバーを利用すると、書きやすいです。



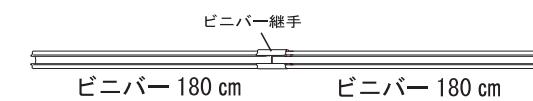
パッカーで、枠を囲うように、横、下側を留めていきます。

カッター等で、切り抜きます。  
怪我等に、ご注意ください。

## ② ビニバーを組み立てる。

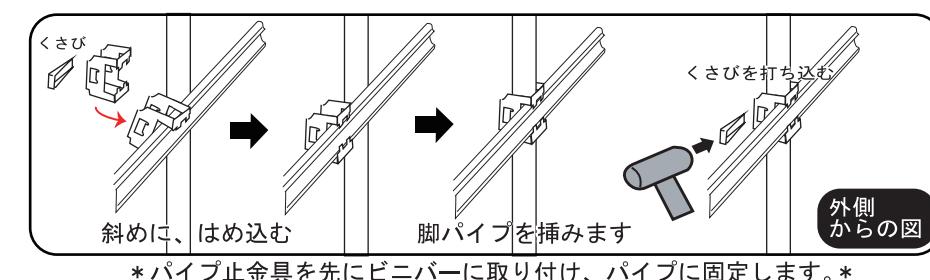
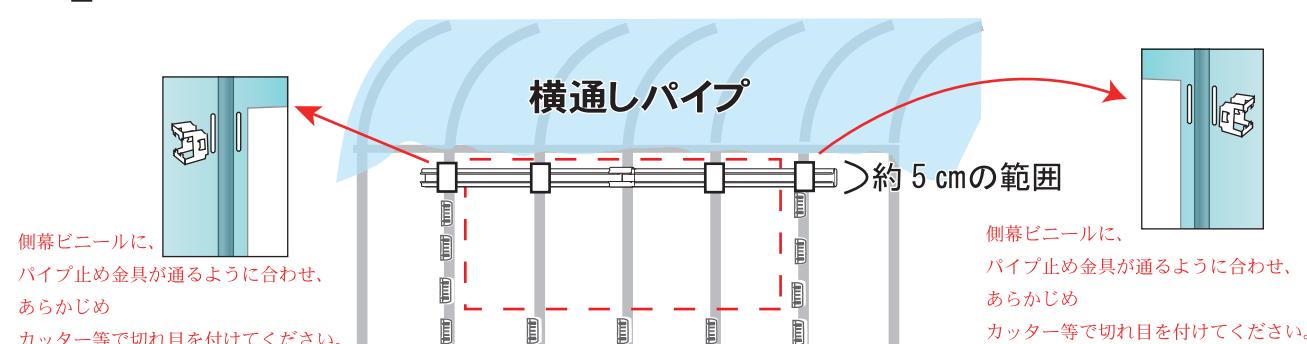
- 継手に半分づつ差込み、繋げます。

ビニバー 180cm + ビニバー 180cm = 全長 360cm



## ③ ビニバーを取り付ける。

- カットしたビニール約 105 cm の、上 5 cm 部分にビニバーを取り付けます。ビニバーは、前後 2 本目の脚パイプより、飛び出した感じになります。
- の位置に、パイプ止金具を使いビニバーを取り付けてください。

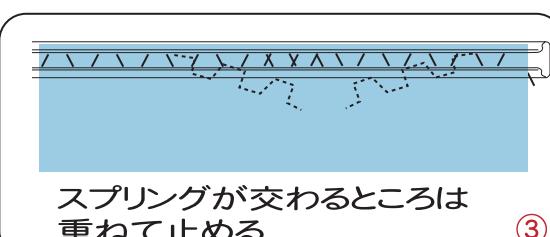
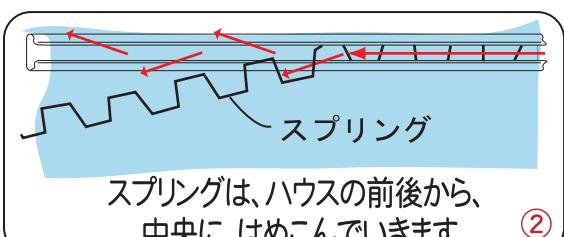
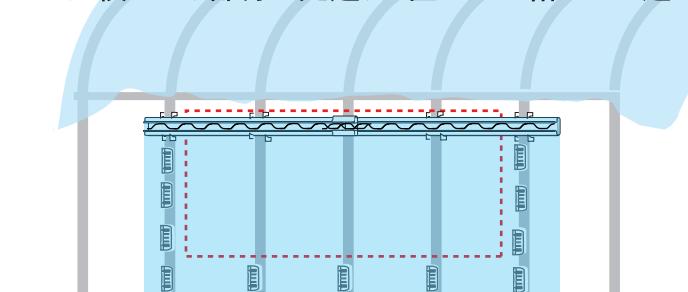


ビニバー取り付け完成

## ④ ビニールを取り付ける。

- ビニバーに、巻上げ用ビニールをあてがい、スプリングを使い固定していきます。  
(スプリングは、両サイド（ビニールハウスの前後方面）から、はめ込んでいきます。)

※ 天井ビニールの、横かぶり部分を元通りに直し、一緒にはめ込んでもかまいません。



⑤ ビニール巻き上げ用直管パイプ（ダensusエジ加工）を繋ぐ。（2.06m×2本 +0.9m= 約 4.9m）

※ 6cm部分は、差込む部分になります。

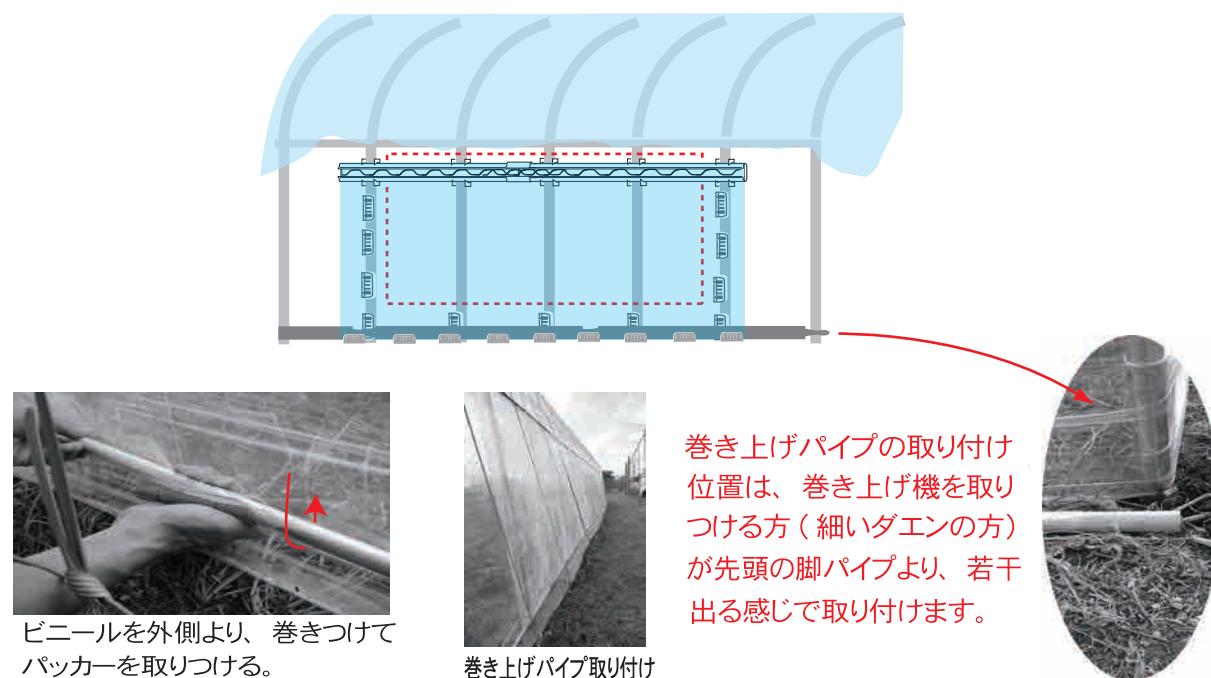
- 細いダエンが差し込み部分、太いダエンが受け口になります。巻き上げ機は、細いダエン側に取り付けます。太いダエン側には取り付けられません。

※巻き上げ機を設置する位置をきめ、パイプを組んでください。



⑥ 巒き上げ機のパイプの取り付け

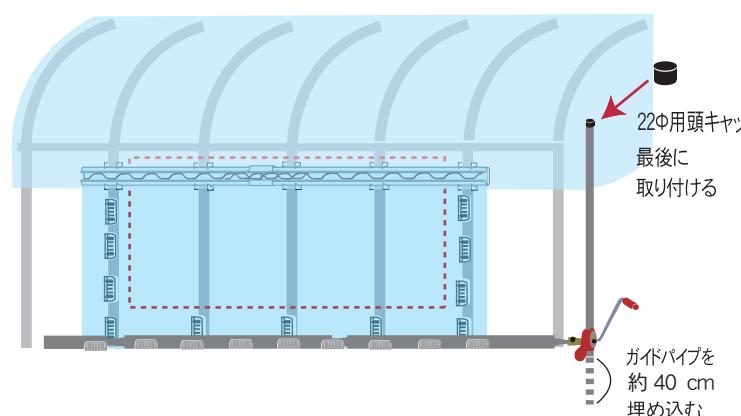
- 繫いだ巻き上げ用直管パイプに、巻き上げ用ビニールを巻きつける感じで、19中用パッカーを使い固定します。



⑦ 巒き上げ機の取り付け

- 22.2中ガイドパイプを建て、巻き上げ機を通し、巻き上げ用直管パイプを取り付けます。

※ ガイドパイプは、ビニールハウスの前面（後面）に建てる感じになります。



巻き上げ機を仮組し、ガイドパイプの、設置位置をきめます。  
棒などを差して、地面に印付けしてください。

巻き上げ機の仮組をはずし  
穴をあけ、22.2中ガイドパイプを40cmほど埋め込みます。

巻き上げ機を埋め込んだガイドパイプに通します。  
その後、巻き上げパイプのスエジ部分を差込み、挟み込むようにネジ止めし固定します。

- 22φガイドパイプに、頭キャップを取り付けます。



巻き上げ機と、巻き上げパイプを使うことで労力をかけずに、換気できます。

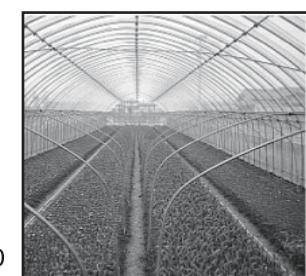
巻き上げは、上下にスムーズに動きます。  
巻き上げた状態で、手を離しても、固定されています。



好評販売中



大型トンネルセット  
トンネルアーチ 2110 2310



ハウス内で設置すれば  
本格農業仕様の、2重ハウスとして、活用できます。

